

メディア事業部

と き
輝く「瞬間」を写します！



ユニバーサルデザインの取り組み

弊社では、アクセシビリティ向上に積極的に取り組んでいます。
イベントなどの情報保障、Ustream中継、ホームページ制作、チラシ・パンフレットの作成、などのトータルコーディネートを行います。
チラシ・パンフレットには音声コードを^{※1}(Uni-Voice)入れ、カラーユニバーサルデザインの検証、手話動画の制作なども行っています。

※1 JAVIS(日本視覚障がい情報普及支援協会)が開発した2次元バーコードです。
※2 NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構にCUD検証をいただいています。

制作・取り組み例

- A N A ホームページ制作
- 手話動画制作 ■ 遠隔手話・文字通訳情報保障
- 各種イベントのトータルコーディネート and more....



Uni-Voice事業企画株式会社
<http://www.uni-voice.co.jp/>



特定非営利活動法人
カラーユニバーサルデザイン機構
<http://www.cudo.jp/>

SPORTS PHOTO LIBRARY スポフォト

スポーツで活躍する選手達の姿を輝く「瞬間」に。

スポーツフォトライブラリー「スポフォト」は、子ども達のスポーツの大切な記録を生涯にわたって残すお手伝いをいたします。
スポフォトで撮影するのはすべてプロのカメラマンです。フィールドで活躍する選手たちや、必死で声援を送る控えの選手たち、1人1人を主役として愛情を込めて撮影させていただきます。

スポフォトは各主催団体から指定を受けています。
・日本中学校体育連盟・東北中学校体育連盟
・宮城/福島/山形/青森県高等学校野球連盟
・宮城県高等学校体育連盟サッカー専門部
・宮城県中学校体育連盟
・東北高等学校体育連盟サッカー専門部・仙台六大学野球連盟

概要

- 試合撮影・データ編集・製本作業
- ポスター、広告、チラシデザイン、作成、印刷
- 選手個人年間アルバム制作・甲子園記念アルバム制作
- 大会出場記念誌制作
- 卒業記念ポスター制作
- カレンダー制作 and more....

<https://www.spophoto.jp/>



この黄色いピブス(撮影時に着用する高野連指定のベスト)が指定業者の証です。
登録業者以外による写真販売は禁止されています。

メディア制作

プロによる質の高いコンテンツ制作/聴覚障がい者に対応したメディアの作成

「スポフォト」サービスインターネット関連事業などで培われたプロのカメラマン・クリエイターによる技術を活用し、写真、CM、Webコンテンツの制作などを行います。
学校向けの卒業アルバムや学校パンフレットの撮影から制作、デザインに至るまで全てを担当致します。
また、ICT事業部の取り組みと連動した聴覚障がい者向けの手話動画の作成や字幕の書き起こし、挿入など、多様なメディアをバリアフリー化し発信する事業も推進しています。まずはご相談ください。

制作実績

- 学校向け卒業アルバム制作
- 学校パンフレット・ポスター撮影・制作
- 結婚式用映像制作
- 学校授業動画ストリーミング配信
- 地域アピール映像制作 and more....



障がい者就労支援事業

社会に貢献できる活動を。撮影・編集にハンディキャッパーの参加を積極的に推進し、人材育成をおこない ます。

2005年よりメディア事業部を立ち上げ、聴覚障がい者就労支援事業を開始しました。これは聴覚障がい者の特徴である視覚的情報日本高校野球連盟、東北楽天ゴールデンイーグルス、全日本中学体育連盟、日本サッカー協会とオフィシャル契約を結び、障がい者のこの業務を手話オペレーターが兼業務することで共に働く聴覚障がい者の情報保障が確保され更なる能力を引き出し活用しています。

私たちは、皆様の子ども達の青春の証、成長した姿を残すお手伝いをします。さらにこのプロジェクトでは、障がい者のカメラマンやデザイナーを育成しITに関わるノウハウと共に福祉に関わる理念を持って大切な思い出を心を込めて提供していきます。

収集能力を生かしたデジタルコンテンツに関わる業務を聴覚障がい者と健聴者が共同で行う事業です。カメラマンやデザイナーの育成を行っています。また、聴覚障がい者と共に働くことで通訳者のモチベーションと技術の向上にも役立っています。

デザイナーを育成しITに関わるノウハウと共に福祉に関わる理念を持って大切な思い出を心を込めて



右のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取るか、もしくは下のURLをパソコンで開いていただくと、メディア事業部の説明を手話動画でご覧になることができます。
https://plusvoice.jp/for_deaf/pv/media.html



<https://www.spophoto.jp/>



Miura Voice



ご挨拶

+Voice～聴覚障がい者と共に歩む社会を築くために～

ある聴覚障がい者の結婚式の司会を担当したことをきっかけに、耳が聞こえない・聞こえ難い人たちの世界があるということを知って、もう20年以上経ちました。

その世界では“聴者”と呼ばれる耳の聞こえる私には、その耳の聞こえない・聞こえ難い世界の本質は未だにわかっていないかもしれません。けれども、電話ができない、テレビの音が聞こえない、電車のホームのアナウンスや、デパートの館内放送が聞こえない…音のあふれる情報を中心とした一般社会で、できないことの多い彼らのことを「不便だろうな」と思うことはあっても、「不幸だろうな」とは思いません。手話で本当に楽しそうに仲間同士で会話する彼らを見るにつけ、我々聴者よりも幸せなのではないか？と思うことさえあります。

聴覚障がい者はできないことが多いと言いましたが、本当にそうなのでしょうか？聴覚障がい者と聴者とのコミュニケーションを考えた時に、確かに“音が聞こえない”のは聴覚障がい者の方。でも双方向で考えてみれば、聴者が“伝える手段を知らない”からコミュニケーションが取れない、ということになっているかもしれません。

音に代わる伝達手段を提供し、情報やコミュニケーションの世界が広がれば、聴覚障がい者の“できないこと”は“できること”に変わるはず。そう思って、このプラスヴォイスという会社を設立しました。

1つは音声によるコミュニケーションや音の情報を捉えることをサポートするICTを活用した代理電話サービス/遠隔(手話・文字)通訳サービスを提供する会社として。そしてもう1つは、聴覚障がい者が聞こえない代わりに持っている視覚能力の高さや感性を活かした写真・映像メディアを提供する会社として。

そして、その2つを融合させることで、聴覚障がい者の世界の広がりを実証する、聴覚障がい者と聴者が共に互して働く社会を実現する。そのための会社であろうと努力し続けています。

ただ聴覚障がい者の「声」を伝えるためだけではなく、世の中の「声」が彼らに届かないために閉ざされている世界を開く、「もう一つの声」として。プラスヴォイスは聴覚障がい者と共に歩む社会を築くために努力していきます。

株式会社プラスヴォイス 代表取締役社長 三浦 宏之



右のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取るか、もしくは下のURLをパソコンで開いていただくと、こちらのページの説明を手話動画でご覧になることができます。
https://plusvoice.jp/for_deaf/pv/voice.html



■ 事業概要

商号	株式会社プラスヴォイス(英語標記:PLUSVoice, Inc.)
設立	平成10年(1998年)8月19日 資本金 1100万円(2004年4月増資により株式会社へ組織変更)
代表者	代表取締役 三浦宏之(昭和38年5月生)
決算期	7月
取引銀行	株式会社七十七銀行・みずほ銀行
取引企業	公益財団法人日本財団、財団法人日本高校野球連盟、財団法人日本中学校体育連盟、東北楽天ゴールデンイーグルス、全日本空輸株式会社(ANA)、株式会社ジェーシーピー、三井住友カード株式会社、三菱UFJニコス株式会社、楽天カード株式会社、株式会社新生銀行、広島ガス株式会社、株式会社ホロン、パイオニアVC株式会社、株式会社京王プラザホテル、株式会社自立コム、ダブル・ピー株式会社、株式会社東京信友、株式会社アステム、株式会社スピーディア、株式会社ビーボーン、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社アドバンス・メディアShamrockRecords株式会社、損保ジャパン日本興亜株式会社、凸版印刷株式会社、成田国際空港株式会社、エルズサポート株式会社、ビッグアイ共同機構、ビッグアイ共同機構、三井住友海上、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命、ワイジェイカード、ジブラルタ生命保険、SBI損害保険株式会社、株式会社テリロジーサービスウェア、株式会社ジャックス、ブルデンシャルジブラルタファイナンシャル生命保険株式会社、一般財団法人日本財団ボランティアサポートセンター、ソニー損害保険株式会社、スカイマーク株式会社、株式会社クレディセゾン、アクサ生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社(2020年1月現在)
取引公共団体等	厚生労働省、港区(東京)、飯能市、荒川区、東京労働局、大崎市民病院
関連団体	財団法人仙台市産業振興事業団、中小企業総合事業団、一般社団法人宮城県聴覚障害者協会

■ 沿革

1998年 8月	有限会社プラスヴォイス設立	2015年 7月	新生銀行 遠隔手話通訳サービス導入
1998年 10月	ユーザー組織「プラスヴォイス倶楽部」設立	8月	鳥取県 UDトーク導入
2002年 10月	本社移転 仙台市育成対象企業認定企業育成室(仙台市青葉区中央)	2016年 2月	三菱UFJニコス手話サービス開始
	12月 KDDI株式会社提携	3月	楽天カード手話通訳サービス開始
2003年 5月	NTT東北病院(宮城県仙台市若林区)受付にて手話サポート開始		京王プラザホテル新宿 遠隔手話通訳サービス開始・代理電話サービス開始
	11月 NTT東日本宮城支店・NTT-ME東北提携障害者IT支援サービス「サポート+アイ」サービス開始	2017年 4月	ANA 空港カウンター 遠隔手話通訳サービス導入
2004年 11月	宮城県 遠隔手話サポートサービス導入	6月	東京都港区役所 遠隔手話通訳サービス導入
2005年 4月	聴覚障害者就労支援事業 メディア事業部スポーツフォトライブラリープロジェクトを開始	2017年 4月	厚生労働省 遠隔手話通訳サービス導入
2007年 3月	東北楽天ゴールデンイーグルスオフィシャル契約	7月	成田国際空港 遠隔手話通訳サービス導入
2008年 4月	NTT東日本一宮城 BBショップ 遠隔手話通訳サポートサービス導入	8月	飯能市遠隔手話通訳サービス・代理電話サービス開始
2010年 2月	ANA 代理電話を活用したコールセンターサービス開始	9月	青山オフィス(社長室・コンサルティング事業部)開設
2011年 5月	福岡市観光案内所(天神) 遠隔手話サポートサービス導入	9月	損保ジャパン日本興亜 損保手話通訳センター開始
	9月 東日本被災地聴覚障がい者向け日本財団遠隔情報コミュニケーション事業受託	11月	エルズサポート手話・筆談サービス開始
2012年 10月	東京通訳センター開設 JR九州 博多駅観光案内所 遠隔手話サポートサービス導入	11月	三菱東京UFJ銀行手話通訳リレーサービス開始
2013年 8月	鳥取県 遠隔手話通訳サービス開始	12月	国際障害者交流センター ビッグアイ 遠隔手話通訳サービス導入
	9月 日本財団 電話リレーサービスモデルプロジェクト開始	2018年 2月	三菱東京UFJ銀行 遠隔手話通訳サービス開始
	12月 広島ガス 遠隔手話通訳サービス導入	3月	三井住友海上 三井住友海上手話通訳サービス開始
2015年 3月	JCB手話デスク開始	3月	SOMPO ひまわり生命 手話・筆談サービス開始
	4月 鳥取県代理電話サービス開始	4月	荒川区遠隔手話通訳等サービス及び電話代行サービス開始
	5月 すずらん薬局グループ 遠隔手話サポートサービス導入	8月	ワイジェイカード Yahoo! JAPANカード手話通訳サービス開始
	6月 多言語通訳V-CUBEトランスレーターに手話、文字通訳サービスを追加	8月	ジブラルタ生命手話・筆談サービス開始
		10月	東京労働局 遠隔手話通訳等サービス事業開始
		2019年 1月	SBI損保手話・筆談サービス開始
		2月	テリロジーサービスウェア みえる通訳の手話委託業務受託
		3月	ジャックス 手話・筆談通訳サービス開始
		4月	ブルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険 PGF生命手話(筆談)・チャットサービス開始
			大崎市民病院 遠隔手話通訳サービス開始
			日本財団ボランティアサポートセンター事業受託
		9月	ソニー損害保険 手話・筆談サービス開始
		11月	スカイマーク国際線コールセンターサポート開始
		12月	セゾン手話サービス開始
			アクサ生命 手話・筆談サービス開始
		2020年 1月	東京海上日動 手話・筆談通訳サービス開始

■ 受賞・表彰

- ◆2001年5月17日 財団法人日本ITU協会 <http://www.ituaj.jp/> 第29回 日本ITU協会賞 ユニバーサルアクセシビリティ賞受賞
- ◆2004年1月19日 仙台市・財団法人仙台市産業復興事業団 仙台ビジネスグランプリ2003 グランプリ受賞 <http://www.siip.city.sendai.jp>
- ◆2004年1月27日 社団法人 東北ニュービジネス協議会 第10回 東北ニュービジネス大賞 大賞受賞 <http://www.tnb.or.jp>
- ◆2004年6月1日 東北総合通信局「電波の日」局長賞受賞
- ◆2004年7月23日 アントレプレエナー・オブ・ザ・イヤー2004(EOY Japan 2004) スタートアップ部門東北大会ファイナリスト
- ◆2013年10月8日 平成25年度 みやぎ認定IT商品 「手書き電話」
- ◆2013年11月21日 IAUDアワード2013 コミュニケーションデザイン部門 金賞 「UD手書き」
- ◆2013年12月4日 SPARK! TOHOKU ～東北発ICTビジネスの勝負ドコロを探る NICT賞 「手書き電話・UD手書き」
- ◆2014年10月1日 GOOD DESIGN AWARD 2014年度グッドデザイン賞 「手書き電話UD」
- ◆2018年12月18日 X-Tech Innovation 2018 東北地区最優秀賞 「プラスヴォイス トータル支援システム」

■ 認定事業

- ◆2002年7月 創造的活動促進法認定 宮城県(地産)指令第62号 「TV電話を利用した手話通訳、電話リレーサービスの研究開発とその事業化」
- ◆2003年3月 総務省 通信・放送新規事業認定(通称:TAO) 「オンラインコミュニケーションサポートシステム(通称:OCSS)」
- ◆2004年4月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「聴覚障害者のための代理電話サービスおよび視覚障害者のための代理確認サービスの役務提供」
- ◆2004年 財団法人 仙台市産業復興事業団 ニュービジネス事業化助成金 「IPテレビ電話を活用した遠隔手話通訳による窓口サポートサービスの普及事業」
- ◆2004年 七十七ビジネス復興財団 七十七ニュービジネス助成金 「障害者のためのテレビ電話によるコールセンター事業」
- ◆2005年4月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「映像を利用した身体障害者遠隔支援サービスの役務提供」
- ◆2006年4月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「ITを活用した身体障害者の為の遠隔サポートコンタクトセンターの役務提供」
- ◆2007年4月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「視覚障害者向け遠隔サポートセンターの役務提供と障害者負担軽減モデルの推進」
- ◆2008年4月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「視覚障害者向け遠隔通訳サポートサービスの役務提供と企業コールセンターのバリアフリー推進」
- ◆2011年6月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「聴覚障がい者の為の遠隔コミュニケーション支援サービスの役務提供」
- ◆2012年6月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「聴覚障がい者の為の代理電話サービスと遠隔手話・文字通訳の役務提供」
- ◆2013年6月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「聴覚障がい者の為の代理電話サービスと遠隔(手話・文字)通訳サービスの役務提供」
- ◆2014年6月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「聴覚障がい者のための総合遠隔通訳サポートセンターの運営」
- ◆2015年6月1日 総務省 独立行政法人 情報通信研究機構(通称:NICT) 「聴覚障がい者のための遠隔(手話・文字)通訳センターの運営」